

■米国：エネルギー省、先進的原子力技術開発に6,500万ドル超投資

米国エネルギー省（DOE）は2020年6月18日、93の先進的原子力技術開発プロジェクトに対して、総額6,500万ドル超の投資を実施することを発表した。今回の投資は3つのプログラムの下で実施され、その内訳は、大学での原子力研究開発（NEUP）に5,500万ドル、原子力技術研究開発（NEET）に500万ドル、原子力科学ユーザーファシリティーズ（NSUF）に500万ドルとなっている。最も金額の大きいNEUPでは、国際的リーダーシップ維持を目的とし、革新的な原子力技術研究を実現するための教員や学生に対する支援、研究用原子炉やインフラの改善・改良のための投資などが実施される。今回の発表にあたってDOEのブリュイエット長官は、「トランプ政権は原子力の重要性を認識している。先進的原子力技術開発を推進することは、国民のために信頼性の高いクリーンなエネルギーを確保するために最も重要であり、温室効果ガスを大幅に減らすことを真剣に目指すのならば、ゼロエミッション電源である原子力エネルギーについて議論しなければならない」と述べた。